

3月19日(日)

第50回 トウシビー合同祝賀会

今年は祝賀会開始1時間前の写真撮影に全員が集まり、ウチナータイムも今は昔と思わせた。

また幕開けから全ての余興を関係者とサークルの方々に執り行い、定刻午後6時に予定通り終了できたことは、当自治会の団結の賜物だ。

トウシビー(生まれ年)は12年間の始まりの年である。物事を始める時には計画や予定を立てるものだが、今年の干支である

酉年生まれの方が旅行などの計画を立てている時の目の輝きは印象的である。



おしどり夫婦、車で行く史跡巡り

首里城、道の駅巡り、沖縄のダム巡り、トンネル巡り、歌碑巡り。

嘉数春雄、千重子夫妻

は旺盛な研究心をもって積極的に日々楽しんでおられ、人生を謳歌するお手本である。

会館のコミュニティルームに夫妻が訪問した先を示した地図が掲示されている。参考に巡ってみるのもいい。



街灯設置の応募締め切り間近!!

暗い道に街灯を設置すると防犯になります。

現在、国場自治会では

「那覇市保安灯設置等事業補助金」を活用した街灯設置を進めています。

受付は5月31日まで。必要な方は自治会へご連絡ください。

3月31日(金)【旧暦3月4日】

三月あしび

三月あしびは会員女性だけで行う祭りである。お供え物の作り付けと盛付けや、ヒヌカン(火の神)のウガミ(拝み)から始まり、ミルクとグスクマ、ウガンの拝所でのスーリー東節や金武節の独唱に合わせながら踊りとウガミが行われた。

ウガミ用のドウジン(胴衣)とカカン(袴)は、王国時代に士族女性が着用した礼装で琉球独特の衣裳である。ワインカラーの長袖の上着とひだの入った白いロング



の巻きスカートのコントラストは華やかさを漂わせている。

なぜ琉球王国の士族の礼装が当地の祭り

で着用されているのか。根元のグスクマでは代々王府から養子を迎えていた様で、その事と関係があるのかもしれない。



新職員

大城善子さんの紹介



屋号は前又大前小。自治会長経験者の故城間善吉の長女。

子供のころから自治会に関わりながら育ってきました。自治会業務は初めての経験ですので、会員の皆さまの温かいご支援とご指導を宜しくお願い致します。

平和は皆の願い 想いは一つ

刻銘のための調査票の提出が90%に達しています。

まだ提出されていない方は早めにご提出下さい。

